

村野藤吾記念会

Togo Murano Committee

ニュース・リリース用

各位

第4回村野藤吾賞が下記の通り決定いたしましたので、お知らせ申し上げます。

なお表彰式は改めてご案内申し上げますが、5月11日（土）正午より、中目黒の千代田生命本社ビルにおいて行われる予定です。

第4回村野藤吾賞

受賞者 木島安史

対象作品 熊本県立東稜高等学校

第4回村野藤吾賞は、3次にわたる選考の結果、木島安史氏（対象作品 熊本県立東稜高等学校）に決定した。

木島安史氏は1937年生まれ。1962年早稲田大学工学部建築学科、1966年に同大学院卒業。スペインのトロハ研究所、早大吉坂研究室、丹下健三+都市建築設計研究所、エチオピアのハイエセラシエI世大学教授、YAS都市研究所主宰、熊本大学工学部教授、そして今年（1991）の4月から千葉大学教授と多彩な経歴を持っている。

熊本県立東稜高等学校は、学校建築固有の多くの制約条件があるなかで、地元産の木材を多く用いながらさまざまな設計上の工夫がなされ、学校建築に対する新しい提案として結実している。計画的には昇降口棟を中心に扇形に配された各棟が渡り廊下で結ばれ、それぞれの棟が特徴ある空間を持ち、これまでの無味乾燥で画一的な学校計画にはみられない個性的な教育の場が構成されている。また教室の南側にとられた外廊下は、陽が差し込む明るい空間となって動線としての機能を超え、生徒たちの憩いの場、コミュニケーションの場となっている。木も、体育館や芸術棟をはじめ、それぞれの使用目的に相応しい使われ方がなされており、視覚的、触覚的に過不足なく木の温もりを伝えている。

こうした優れた造形に加えての細部にわたる人間的配慮が、村野藤吾賞に相応しいものとして高く評価された。

なお今年は、木村俊彦（構造設計者）、鈴木昌道（造園設計者）、石井和紘の各氏が最終選考に挙げられ、熱心に検討された。今年の審査委員は清家清、阪田誠造、山本俊介、谷口吉生、出江寛の5氏である。